

太宰府市立中学校のめざす標準服のあり方

太宰府市立中学校 めざす標準服の配慮事項

機能的配慮	体温調節、活動	近年の気温の上昇、空調導入等、気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とする。
	耐久性、お手入れ	3年間着用するための耐久性、生徒の成長に対応できる仕様、家庭でのケアがしやすい素材等を採用する。
生徒への配慮	防犯面	スラックス等の導入、学校名、氏名の刺繍以外での氏名表示方法を検討する。
	性的マイノリティ	男女差のないもの等の導入により、性差のある制服に対する負担がある生徒への配慮を行う。
経済的配慮		<p>四中学校統一服</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4校中2校が詰襟、セーラー服であり配慮事項への対応が難しいため、各校での対応となる。また、4中学校の仕様が異なるため制服価格の学校間差がある。統一服とすることで数量が確保できるため価格を有意に下げることができる。 ・現行もしくは現行以下の価格設定をめざす。 ・さらに見た目に分かりにくい程度の素材の違いにより価格帯の選択ができる等の経済的な配慮を行う。 ・平成29年度に発表された公正取引委員会の調査結果をふまえた取引の研究を行う。
現行の制服の課題の改善		現代の様々な状況にできる限りよりよく対応したものにする。 上記以外にもきめ細かな改善を行う。